

男性育休のいま

—育休制度30年を迎えて—

プログラム

- | | | |
|---------------|-------|----------------------------|
| 10:00 ~ 10:05 | 開会の挨拶 | 篠原聡子（日本女子大学学長） |
| 10:05 ~ 10:10 | 趣旨説明 | 坂本清恵（日本女子大学現代女性キャリア研究所 所長） |

第一部 講演

- | | | |
|---------------|--------------------------|---------------|
| 10:10 ~ 10:30 | 「男性の育休：求められる背景と課題」 | 武石恵美子（法政大学教授） |
| 10:30 ~ 11:10 | 「男性育休先進国スウェーデンの実践的な取り組み」 | 高橋美恵子（大阪大学教授） |

第二部 事例報告・パネルディスカッション

- | | | |
|---------------|---------------------------------------|------------------------|
| 11:10 ~ 11:25 | 「より誰もが働きやすい環境をつくる「なりきりん」ママ・パパ研修」等のご紹介 | 豊福美咲氏（キリンホールディングス株式会社） |
| 11:25 ~ 11:40 | 「清水建設における男性育休取得推進への挑戦」 | 西岡真帆氏（清水建設株式会社） |

休憩（10分）

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------------|
| 11:50 ~ 12:30 | 質疑応答、ディスカッション | |
| | コーディネーター | 武石恵美子（法政大学教授） |
| | パネリスト | 高橋美恵子（大阪大学教授） |
| | | 豊福美咲（キリンホールディングス株式会社） |
| | | 西岡真帆（清水建設株式会社） |
| 12:30 ~ 12:35 | 閉会の挨拶 | |

登壇者プロフィール



武石恵美子

筑波大学卒業後、労働省（現厚生労働省）、ニッセイ基礎研究所、東京大学社会科学研究所助教授等を経て、2006年4月より法政大学。博士（社会科学）。専門は、人的資源管理論、女性労働論。主な著書に、『キャリア開発論』（中央経済社）、『ダイバーシティ経営と人材活用』（共編著、東京大学出版会）、『多様な人材のマネジメント』（共編著、中央経済社）など。厚生労働省『労働政策審議会委員』等の公職を務める。



高橋美恵子

大阪大学大学院人文科学研究科教授。ストックホルム大学社会学研究科博士課程修了。Ph.D.（社会学）家族社会学とジェンダーの視座から、スウェーデンや欧州先進諸国と日本における子育て家族とワーク・ライフ・バランス、次世代のエンパワメントに関する比較研究に従事。＜主な著作＞・Worklife Balance. The Agency & Capabilities Gap. Oxford University Press. 2014。（共著）
・『ワーク・ファミリー・バランスこれからの家族と共働き社会を考える』慶應義塾大学出版会、2021。編著）



豊福美咲

2008年入社、工場総務担当、グループ会社人事総務部門を経て、2019年4月よりキリンホールディングス（株）人事総務部。キリングループでは、イノベーションのドライバーである「多様性（Diversity）」をグループ従業員全員が共有する価値観として定めてグループ全体で取組みを加速させており、その理解浸透や実践強化、なりきりん事務局や女性活躍推進等を担当している。



西岡真帆

1995年4月、清水建設に入社。都内の道路トンネル現場で施工管理を経験後、1998年10月より土木本部にてシールド関連の技術開発を担当。2001年4月から約13年間、土木技術本部にてコンクリートの専門技術者として全国の現場を支援。2011年4月に課長職に昇進。2014年5月、コーポレート企画室経営企画部に異動後、2015年6月より人事部ダイバーシティ推進室長。